

事とされており、放課後の学びの場の充実等に多くの意見・提言をいただいています。学校・地域の連携を深めながらこれら提言に積極的に応えていきます。

**中途半端な組織機構の見直しは職員と市民に混乱を招きかねず抜本的な改革が必要では**



ちだ みつこ  
千田美津子  
議員

**質問** 奥州市議会は、この間、

議員全員の総意として、「奥州市行政組織の改善を求める意見書」を採択し、市長に対し「合併協議会における協議内容等について、合併新市は履行していく責務があるが、履行した結果、不適切な部分が明確になったものについては速やかに改めるべき」と、議会の強い意思を示してきました。しかし、相原市長は、「合併協議会での協議、首長の思いを尊重しなければならぬ」と、抜本的な機構改革（水沢総合支所と本庁の統合等）については、消極姿勢です。

そこで、市民にわかりやすい行政機構の実現と対応策及び職員の能力を活かす機構の整備について改めて市長の見解を伺います。

**市長**

不適切なところを改めるのは異論がありませんが、旧5市町村のサービスを後退させないため、支所の人数を少なくしないように全力を尽くしてきました。組織機構の見直しについては、職員による検討委員会で現実を把握し、英知を集めていただいたものです。

**質問**

地域包括支援センターの現状と対応について伺います。

地域包括支援センターは、社会福祉士・保健師・主任ケアマネジャーの3つの専門職を中心に、介護・福祉・医療などの連携を取り、地域の高齢者の生活を総合的に支えていく拠点となるべきものです。しかし、体制整備はまだまだ不十分です。今後の対応策を伺います。

**市長**

思うように配置できていないのが実態ですが、介護予防については、職員体制を増やしてきました。

**観光及び文化財行政について  
定住化対策について  
一般行政について**



ふじた よしのり  
藤田 慶則  
議員

**質問**

見分森展望台を活用し、



見分森展望台から望む散居集落

散居をPRすべきと考えます。また、例えば南都田栗野善知翁の石碑・胸像の所には標識がないが、市全体として史跡等の標識は充分に備わっているのか伺います。

**市長・教育委員長**

胆沢扇状地の散居集落については、見分森展望台の活用を含めた効果的なPR手法等を検討します。また、標識等の設置については、腐朽や老朽化が進む既存標識等を優先的に緊急度の高いものから順次対応、先人顕彰の事例は、各区においても数多くあるので、今後の課題であります。

**質問**

Uターン・Iターン誘導について伺います。

**市長**

Uターン者の住宅確保による地域活性化をめざして、空

き家紹介事業をスタートし、現在、8軒の申請をいただき、空き家バンクとして市のホームページで全国へ情報提供をしています。なお、取得して移住された方に対する支援として、住宅建設等資金の利子補給事業がございます。

**質問**

中心市街地活性化について、特に基本計画の策定について伺います。

**市長**

国の色々な支援制度を活用するため、今後5年以内の具体的な事業を計上して、計画をつくって国に認めていただく必要があります。そこで、策定委員会を設置、総合的に検討をすすめ、19年度の早い時期に申請をしたいと考えております。

**総合水沢病院の運営について**



わたなべ あけみ  
渡辺 明美  
議員

**質問**

平成19年度の予算では累積欠損金42億7千万余、不良債務23億1千万円余となり、財政再建計画を早急に策定し財政の健全化を図る必要があります。

「公営企業法全部適用で事業運